

不思議な僧侶たち

仏教の未来に挑戦するフリーマガジン

FEBRUARY 2017

45



大切なものって、何？

特集 死の体験旅行

Think about Your Death, Love Your Life !!

特集 死の体験旅行

「スマホを切って、死の体験旅行に出発しましょう！」
目を疑うようなイベント告知。こんなに堂々と
「死」というワードを打ち出したイベントは他に知らない。
タイトルだけ見ると、「棺桶に入るの?」とか
「死後の世界を魂となって彷徨うような体験?」
などと思ってしまうが、そうではない。
「自らが死を遂げるまでを疑似体験する」
ワークショップなのだ。

取材・文：フリースタイルな僧侶たち編集部

死

の体験旅行。ネーミングだけを見ると、一体何が行われるのかと、あれこれ想像を巡らせてしまうこのワークショップは、2017年2月現在までに、全国各地で百回以上開催。約2千人の人たちが体験してきた。

内容を端的に言えば「自身が病を患い、死を迎えるまでの物語」を追体験するワークショップだ。病状が進むにつれて、紙に書き出した自分にとって大切なものを一つ、また一つと手放していく。

主催されているのは、浄土真宗の僧侶、浦上哲也さん。僧侶が主催者のため、「仏教の教えが元にあるワークショップなんですか?」と、よく質問されるそう。だが実は、「ホスピス、終末医療施設で働くスタッフが、余命宣告を受けた患者様の最期に、より良く寄り添えるように」と願って開発されたワークショップだという。

お葬式や法事など、人の死に関わるご縁が多く、僧侶としてご本人やご遺族にどう寄り添えばいいかと普段から考えていた浦上さん。「父を亡くしたとき、身近な人を失うのはこんなにも悲しいのかと、初めて知りました」。そんなときに、このワークショップの存在を知った。医療従事者向けで、一般には開催さ

FINAL JOURNEY WORKSHOP



れていなかったが、浦上さんは何とか受講させてもらえる先生を探して依頼。僧侶仲間と受けたのが、死の体験旅行との出逢いだったという。

「実際に大切な方を亡くされたご遺族の気持ちや、亡くなっていくご本人の苦しさ・想いの、何百分の一かもしれないけど、その一端を感じられた貴重な体験でした。一緒に受講した僧侶の一人が、死の体験旅行について思いを綴ったブログに、ぜひ受けてみたいと反響があつて、主催する側に回り、試行錯誤しながら現在に至っています」
イベントのウェブページには、次のような言葉がある。

「死ぬ」から「生きる」を学ぶ2時間。大切なものと出会える時間があなたを待っています——浦上さんは、「死を目前に控えた方に寄り添う」という当初の目的にとどまらず、「大切なものに気づく」ことにこのワークショップの意義を感じてきたという。目を背けがちな「死」と向き合うことで、何と出会えるのだろうか。一度体験したくて、私たち編集部も参加してみた。

この日の会場は、東京の池袋からほど近い金剛院というお寺。とつぱり日が暮れた夕刻、院内の一角にある部屋に参加者が集まって来る。定員いっぱい

25名だった。

19時。浦上さんのオリエンテーションから、ワークショップが始まった。誠実な人柄に、どこか張りつめていた会場が和む。参加者が持つ不安や疑問への心配り。参加者は安心してワークに臨むことができる。

次に、本編に向けての準備。手の平サイズのカードが配布され、説明を受けながら、自分にとって大切なものを書き出していく。大切な人、物。記憶や風景、行動や習慣……。

「これまで、改めてじっくり考えながら、大切なものを書き出したことなんてなかったな」「他の参加者の方はどんな想いでこのワークショップに参加して、今は何を思ってるんだろう」などと思いながら、指定された数を書き切り、準備が整った。そして、静かに死の体験旅行の本編が始まる。

部屋の中に、浦上さんの声だけが響く。病にかかり、病状が進んでいく。ストーリーが進むにつれて、先ほど悩みながらやっとの思いで書き出した大切なものを諦め、手放していかねばならない。選びがたい選択を迫られて、心がざわついた。今まで感じたことのない想いに、胸が苦しくなる。会場からは、深いため息や、すすり泣く声も聞こえてきた。



WHAT IS YOUR MOST IMPORTANT THING ?

そして、手元に最後まで残ったものも、失うときを迎えた。会場がシンと静まり返る。

「あなたは今、命を終えました。これで、あなたの死の体験旅行は終わりです」

ぐったりしながら、この言葉に身を浸っていた。会場の空気も重い。しかし、続く浦上さんの言葉が、暗く沈んだ心に一筋の光を差した。

ワークの中で手放した大切なものが書かれた紙を、こわばった首や肩をほぐしながら、改めて見渡してみる。一つひとつが、書き出したときよりも大切で、愛しく思えてきた。今、生きている自分は、何も失ってはいない。その事実を、しばらくの間噛みしめた。

本編を終えた後には、どんなものが残ったか、どんな理由でどんなプロセスを経て、それが残ったのかを、グループに分かれて、続いて全体でシェアをした。ともに死を体験した者同士、話は尽きない。

開始から終了までの2時間が、あつという間だった。

「人はいずれ死ぬ」「死ぬときには何も持っていけない」。わざわざ言われなくても、知っていることだ。だけどそれは、「知っている」だけの、どこか「他人事の死」だったと思う。疑似体験と

はいえ、「自らの死」を「体験する」こととの間には、大きな差がある。自分にとって、大切なものを「選り出し」、それを一つひとつ「失っていく」ことには、耐え難いものがあつた。

だけどその中に、発見もあった。死の体験旅行を通して、今の自分を支えてくれているもの、拠り所となつているもの、知らされた。「幸せとは何か」と問われたとき、仏教では「足るを知る」ことだと答えることがある。「足りない、足りない」と煩惱が湧いてきて、つい忘れてしまつているけど、まさに今、私は「大切なものに囲まれている」と、旅を終えて深く感じるこ

とがあつた。

死の体験旅行で、強く印象に残つたのは「自分自身の体験」だけではない。シェアの時間に聞いた「他の参加者の体験」にも深く感銘を受けた。

「普段最も時間を割いていて、生きがいになっている仕事があつさり消えました」

「残される家族を考えると、お金がなかなか手放せなかつた」

「一番苦労をかけている母の顔が浮かんだ」

「自分との共通点が多い親友。会う頻度は減つているので意外だった」

「何気なく書いた『愛する』が残りしました。愛情表現が伝わら

ないことが幼い頃からあつて」

十人十色。一人ひとりにとつての「大切な、かけがえのないもの」に耳を傾け、噛みしめる。そんなあなたたい空気に、会場が包まれているようだった。参加者の言葉に共感し、深くうなずいたり。自分には無かつた視点にハツとしたり。

中でも印象的だったのは、全体シェアのときのお二人のお話だった。時折り涙をこぼしながら、「最後に残つたのは両親の写真でした」と話された方。そのすぐ後で、申し訳なさげに少し笑いつつ、「私は猫が残りました」と語られた方。このお二人に胸を打たれたのは、コントラストもさることながら、心の中を占める大ききという意味では、同じ重みがあるように感じたからだ。終了後に、改めてお話を聞かせていただいた。

Aさん 死ぬとなつたら、自分が棺に持っていきたいものという基準で選ぶことになつて、両親の写真が最後まで残りました。料理が好きなので調理器具も最後の方まで残つたけど、お金とスマホは早々に手放しました(笑)

父が数年前に、母が数カ月前に亡くなつて。両親とも最期に手を握って送ることができて、とても幸せでした。私を含め多くの現代人にとって、死は日常

支えられている大切なものに気づき、
心に蓋をし目を背けていた
潜在的な悩みや悲しみに出会う旅だった。

に無いですよ。ね。老いて病んで死んでいくのが施設、というのが嫌で、私は自分で、この手で送る、と思っていました。父のときは仕事が忙しく、母が送ったという感じでしたけど、母のときは仕事を辞めて。仕事は他の人ができるけれど、これは自分にしかできないと思います。最後の1年、そこに全身全霊をかけすぎてしまいました。

今回は、母が死にゆく際の追体験を試みたかったのと、そのシヨックにまだ向き合えていなくて、自分が再生する日にならなくて参加しました。でも、手放して、手放して、真つさらにならなくて両親の元に帰っていくというストーリーが私の中にできてしまつて。本当は、死んで、すべてを手放して、再生する、というところに自分を持っていかなくてはと思つていたので、まだ自分の中で再スタートを切れるタイミングではないのだなと今日改めて思いました。知らない人ばかりだから正直でいられるところもあると思います。自分が何をしている人とか、自分のバックグラウンドを背負わずに訪ねられる場所は、本当に必要だと思えますよね。

Bさん 6年ぐらい、一人で飼っている子で。かわいい猫なんです(笑)親友が前にこのワー

クシヨップを受けて。私は心があまり強くないというか、例えば仕事をガーツとしてるとメンタルがボキッと折れてしまつて、いろいろとうまくいかなくなるのが結構あつて。そもその考え方が0か100で、これができるかと思ったらもうダメだ、みたいに自分を追い込む癖がある。そのことを知つて友人が、受けてみたらと勧めてくれたんです。あなたが大事にしてる仕事とかお金とかつて、本当に大事なのもう一度考えた方がいいよつて。

それと私は結婚と出産も絶対にしなかったので、ギリギリまで残るかなと思つたけど、最後の方は意外と人と猫が残りましたね。人以外のことつてやつぱりあんまり興味無いんだなと思つて(笑)

こうして明るく話してはいるんですけど、本当に心を許してる友人というか、自分のこれまでのいろいろな浮き沈みを全部伝えて知つてる人つていなくて。唯一、分かつてはいないけど、全部見ているのは、この子なんですよね。かつこ悪いところも、見せられてた。

私がすごく良かったなと思つたのは、最後に「あなたは今、生きています」つてお坊さんが言われたじゃないですか。「ゆつくり息を吸ってください。あなた

は今生きていて、手放したものはまだあなたの周りにあるものなんですよ」と言われたときに、あつ、結婚とか無理だなと思つて捨てたけど、まだ努力しよう、なんで諦めてるんだらうつて、終わった後に気持ちにスイッチが入りました。

いろんな人に受けてもらえる、いいですよ。すごいと思います。ここに来ることで、自分が実は大事にしないといけないことに気づいたら、その後の行動つて変わるじゃないですか。

お互いが「旅の同行者」同士だからだと思つた。シェアの時間に語られる一つひとつが、自分の人生の上にも起こりうることで、深く心に刺さる。「人生は何が起こるか分からない」。先にも書いたが、そんなことは頭では分かっている。だが、シェアを通して「気づけていなかった自分」が浮かび上がり、今の自分には思いが至らなかつた潜在的な悩みや悲しさに気づかされる。一人旅だったら、自分一人だけで体験していたら、こうはならない。

大切なもののシェアであると同時に、それぞれの方が今向き合つている人生のシェアでもあつた。死の体験旅行をした方々は皆、お二人のようにまったく「異なる体験」をしたのだらう。だが、その「体験の深度」

は共通していると感じた。

「両親はしばらく生きて」と、当たり前のように思つてしまつていた私。両親の老いを感じたときにどうするか。介護はどうなるか。本来向き合えないといけないことに向き合えていなかったと気づかされた。仕事に打ち込みすぎて、ある日、心が折れてしまつたかもしれない。そのとき、何が私を支えてくれるだらう。そして、いつ病にかけるかも分からない。いつ命を終えるかも分からない。残される家族のことを考えられているか。しばらく会つていない友人の顔も心に浮かぶ――

何年後かに、また死の体験旅行を受けてみたい。そのときには、何が最後に残るのだらう。どんな体験を、どんな人生を共有するのだらう。

浦上哲也(うらかみ・てつや)

1973年生まれ。一般家庭に生まれ、縁あって浄土真宗の僧侶となる。横浜市神奈川区に「ちいさなお寺 倶生山なごみ庵」を開設。「死の体験旅行」ワークショップを主催するほか、自死・自殺に向き合う僧侶の会や、僧侶が回答者のQ&Aサイト「hasunoha」の回答僧、舞台役者の妻と仏教演劇の公演を行うなど、多方面で活動中。

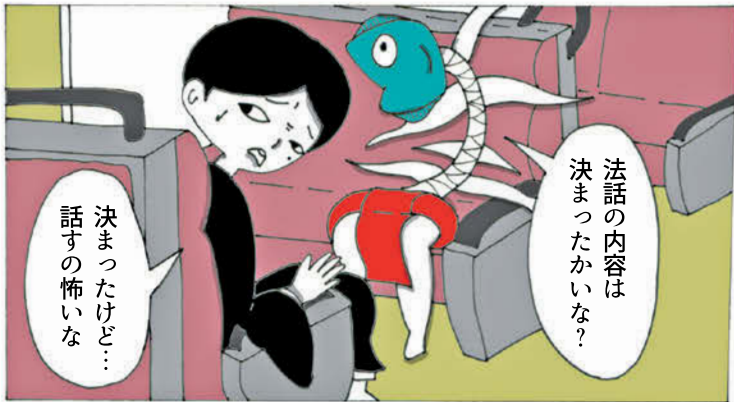
©なごみ庵 <http://753an.blog.so-net.ne.jp>

お坊さん日和。

だ...
23話

“カッコイ人”

まんが
みつさわ ひろあき

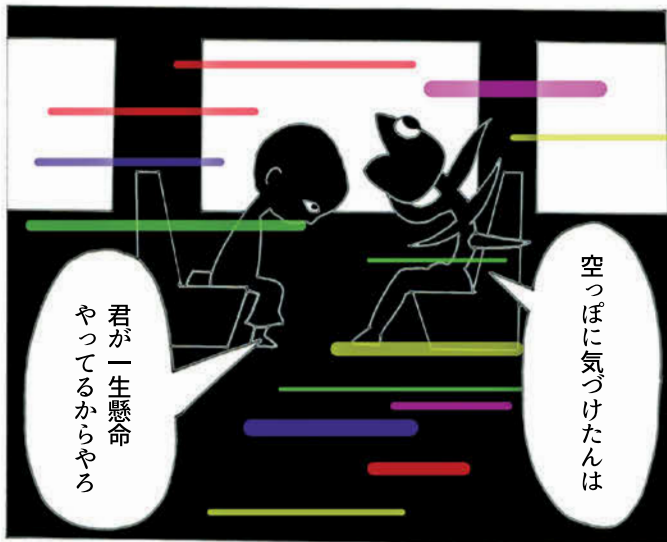


決まったけど...
話すの怖いな

法話の内容は
決まったかいな?



はじめての
法話に向かう
みつあきくん
でも ちよつと
不安なようです



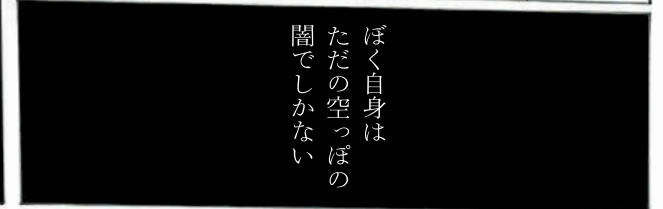
君が一生懸命
やってるからやる

空っぽに気づけたんは



ずっと
カッコイ人の
背中を追ってきた
だけだし

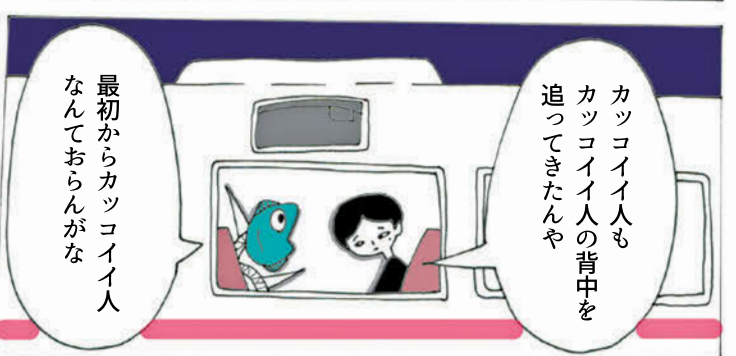
ぼくが
人に伝えるなんて
そんなの
おこがましい



ぼく自身は
ただの空っぽの
闇でしかない



君の生まれる前から
死んだ後も
カッコイ人は
受け継がれてく
大丈夫
君のカッコイ人は
みんなが
よく知っているから



最初からカッコイ人
なんておらんがな

カッコイ人も
カッコイ人の背中を
追ってきたんや



ありがとう
まだちよつと
怖いけど

歩みは続くよと...までも...つづく

photo=DAI YAMADA



REPORT

愛\$菩薩と 声明衆の一座法要

2016.12.25 京都・誓願寺

イベントレポート「愛\$菩薩と声明衆の一座法要」

尼僧アイドル「愛\$菩薩」と、伝統的な声明を大切に守る若手僧侶「法楽衆」によるスペシャルな「法要」。クリスマスの夜、京都の誓願寺で行われた。

昨秋、3カ月連続で親族の法事に出たが、浅学非才・多事多端。ありがたさをしっかりと内宿せなかった。ご先祖さんお坊さん仏さんスマミセン。

で、今回の法要。100名近い老若男女が本堂に集まった。太く高らかに南無阿弥陀仏を唱えながら現れた法楽衆。地声の声明が、阿弥陀如来像がどっしりと鎮座する本堂に充満する中、愛\$菩薩が降臨。まさかの読経と歌のコラボ。不思議とハマる。アイドル活動10年目の愛\$菩薩。笑いありのMC法話と歌

声が、五感をとりこにした。「法事とか法要って、何が行われてるの?」。後半のパネルディスカッションでは、素朴な疑問に各宗派の僧侶が明快に答えてくれた。腹落ち。「法要の意義を少しでも体感して」。そんな企画意図が、前半の脳内残響と相まってしみじみと染み込んだ。法要の途中、通りがかった外

国人カップルが、吸い込まれるように本堂に入ってきた。その気持ち、とても分かりましたよ。

取材・文／清水謙司

朝日新聞記者。寺、宮、森、鳥、昭和な店（大衆食堂・酒場、純喫茶、古書店、パン屋、銭湯）など、親愛なるものに出くわせる関西の鉄道各社各駅思いつき下車の休日「やすが」とする。大阪市福島区在住。

それ、誰から見た「らしさ」?

第18回

しりとり 法話バトル

「らしさ」

世は「自分らしさ」ブームであろうか。自分の性格判断をし、適性を調べ、前世を探り、守護霊まで引っぱり出して「らしさ」を実現しようとする。果たして自分らしく生きることができれば人は幸せなのだろうか?

そもそも自分なんてものは、時代や国が違えばまったくの別人になってしまう、そんな実体のないのが自分なんです。ちょうど空に浮かぶ雲が気圧や気温でその姿を変えようとするように、そんなものが「らしさ」を追い求めても、それこそ雲をつかむようなもので、どこまで追っても「らしさ」を捕まえることなんてできないでしょう。むしろ「らしさ」に囚われることで、自分を見失ってしまうことで

しょう。

そこで私は、あえて言う。「らしさ」なんて考えるのをやめてみようよ。もちろん、誰にだって個性や能力差はあるけれども、そんなものは縁があれば出るし、縁が無ければ一生出番なしに終わってしまうもの。実はあなたが「らしさ」なんて忘れてのんびり過ごしている時、あるいはそれどころじゃないと遮二無二なっている時、あなたの気づかないところで、あなたが一番の「あなたらしさ」をみんなは認めていることでしょう。

法話募集のお知らせ

応募資格 僧侶(宗派不問)

第19回「採点」470字

締切 2017年2月28日

応募先 info@freemok.net

今号の勝者はこちら!

大河戸悟道(おおこうど・ごどう)

真宗高田派 正太寺住職。愛知県出身。雑木林や田畑に囲まれた田舎のお寺に生まれ、大学は美術系の学校へ。「気安く、親しまれる僧侶を心がけております」

仏教伝道協会・フリースタイルな僧侶たち主催イベント

仏教ヨガ講座

2017年2月1日・3月1日



Let's Begin ヨガ Life! 初めての方にも分かりやすく丁寧な指導で、仏教とヨガの側面から穏やかで健康な生活を提案します。

午後7時～午後8時30分 参加費/500円
定員/40名(男女不問) 持物/着替え
会場/仏教伝道センタービル8階 講師/Yuuka
(ガッツ有香)=浄土真宗僧侶・山形県普願寺

働く人のための坐禅会

2017年2月21日・3月28日



ストレスを溜め込んでしまっ、心に余裕を持つことができない方々に、心や頭の整理をしていただく場を用意しております。

午後8時～午後9時30分 参加費/500円
定員/30名(男女不問)
会場/仏教伝道センタービル7階
講師/阿純章=天台宗・圓融寺住職

「ココロのゆくえ×医学」

2017年3月10日



さまざまな分野で心进行分析するBDKシンポジウム。今回のテーマは「医学」。坐禅をセロトニン神経から読み解いていきます。

午後6時～午後8時 参加費/500円
定員/120名(先着順)
会場/仏教伝道センタービル8階
講師/有田秀穂=東邦大学医学部名誉教授

お申し込み先/(公財)仏教伝道協会

E-mail: bdk@bdk.or.jp Web: <http://www.bdk.or.jp>

Facebook: @bukkyodendokyokai

お問い合わせ先: 03-3455-5851 仏教伝道協会 〒108-0014 東京都港区芝4-3-14



公益財団法人

仏教伝道協会

BUKKYO DENDO KYOKAI



ハナ唄になるまでが理想の聲明講座

2017年2月5日

[京都]

私たちの身の回りにあふれる音楽のルーツは宗教音楽にあります。西洋音楽なら讃美歌が有名ですが、日本の能や狂言は念仏踊りや聲明(唄うお経)がルーツだそう。そんな日本に伝来して1200年の聲明が、あなたの“ハナ”からメロディにのって出てくるまでが理想の超ビギナー向け講座です。浄土真宗僧侶が講師を担当します。お寺で声を出すことに興味がある方はお気軽にお越しください。

午後3時～午後5時30分 参加費/1000円(フリスタ会員800円)
定員/20名 持物/筆記用具 会場/聞法会館(京都市下京区柿本町600-1) 講師/山田真悟 申込/<http://www.freemonk.net/events>
問合せ/info@freemonk.net



アラサー僧侶とゆるーく話す会

2017年3月5日

[京都]

アラサーの僧侶数名とフラットに話をする、ゆるーい会。仕事・恋愛・家庭のことなど普段の生活の中でモヤモヤしていることや、とにかく誰かに聞いてほしいことなど、何でもお話しください。お坊さんと話がしてみたいという方や、お坊さんの生態や仏教の考え方に興味のある方、ただただまったりした時間を過ごしたい方も歓迎です。京都の町家で心を落ち着かせて、お坊さんと一緒に考えてみませんか?

午後2時～午後4時30分 参加費/1000円(フリスタ会員800円)
定員/12名 会場/京町家さいりん館 室町二条(京都市中京区冷泉町65)
申込/<http://www.freemonk.net/events>
問合せ/info@freemonk.net

PICKUP EVENTS

お寺で学ぶ、今と未来を生きる智慧



現代版寺子屋 スクール・ナーランダ

2017年2月4日・5日〔京都〕
2017年3月4日・5日〔富山〕

未来の予測が難しく、生きる上での指標やよりどころが揺らいでいる現代人にとって、ゆるがない軸を作ることには簡単ではありません。仏教・哲学・芸術・科学など、人類が積み重ねてきた叡智を集めて、横断的に学び、双方向に対話をし、実際に体験できる、10～20代の方のための新しい学びの場「スクール・ナーランダ」。一人ひとりの軸を作るための要素を、探しに来てください。

午前10時～午後5時30分 参加費／2000円(昼食付・二日間3000円)
〔京都〕本願寺、伝道院 定員60名/日 講師：天岸浄圓、高橋英之、森本千絵、小池秀章、川瀬慈、環ROY〔富山〕飛鳥山善興寺、ほか 定員50名/日 講師：太田浩史、観山正見、内藤礼、飛鳥寛静、能作克治、島谷好徳
申込・問合せ／浄土真宗本願寺派子ども・若者ご縁づくり推進室
☎075-371-5181 goen@hongwanji.or.jp
詳細／<http://www.hongwanji.or.jp> *参加対象者は15～29歳

白隠禅師の禅風をさぐる



白隠禅師シンポジウム

2017年2月18日
〔東京〕

日本臨濟宗の中興の祖とされ、500年に一人の名僧と称される白隠禅師。ユニークな禅画を描かれ、一般庶民への幅広い禅の普及に努められただけではなく、弟子へ向けても漢文語録を多数遺されています。その中の代表作『荊叢毒藥(けいそうどくずい)』を、白隠研究の第一人者である芳澤勝弘氏に紐解いていただきます。また、初めて「健康」という語句を世に打ち出した白隠禅師の仮名法語である『夜船閑話』を、横田南嶺老師にご解説いただきます。最後はお二人に対談していただき、白隠禅師が伝えたかった禅への強い思いに迫ります。

午後4時～午後6時 参加費／1000円 定員／600名 会場／日経ホール(東京都千代田区大手町1-3-7 日経ビル) 講演者／横田南嶺老師(臨濟宗円覚寺派管長)、芳澤勝弘氏(花園大学国際禅学研究所顧問)
申込／<http://www.myoshin-zen-c.jp/mail/index.htm>
問合せ／東京禅センター ☎03-5779-3800

未来へのアイデアはいつも井戸端から

仏教井戸端トーク(つながる編)

2017年2月20日
〔東京〕

哲学者の大竹裕氏と、僧侶4人の座談会形式でまとめられた『つながる仏教』(ポプラ新書)という本が昨年出版されました。今回の仏教井戸端トークでは、この本では不参加だった“みなさん”にも参加してもらい、本書では語りきれない「リアルな一般目線から見た寺との距離感」「各々にとっての“つながる”」を、本書のメンバーを再結集させて、さらに参加者のみなさんも交えながら深掘りしていきます。座談会の一員として楽しんでください。

午後7時～ 参加費／無料 会場／浄土真宗本願寺派築地本願寺2F講堂(東京都中央区築地3-15-1) 登壇者／大竹裕、松本隆行、早島英観、大來尚順
申込／<https://www.facebook.com/bukkyoidobata/>
問合せ／bukkyo.idobata@gmail.com



FROM THE EDITOR

vol.45

一般家庭の生まれで僧侶になった浦上さん。
 「なごみ庵」というお寺をゼロから
 立ち上げたすごいエネルギーの持ち主。
 でも、とてもおちゃめな方です。
 悩みは「なごみ庵」という名前だけに
 そば屋さんに間違われることだぞっ……。



浦上哲也さんと初めてお会いしたのは、今から5年ほど前、仏教伝道協会主催の比叡山での研修会の折だった。柔和な笑顔も、穏やかにお腹に響く重低音の声も、あのときの印象のままだ。そして今回のご縁では、浦上さんの懐の深さに、随分甘えさせていただいた。年の暮れのお忙しい中にもかかわらず、快くインタビューに応じていただいたり、ワークショップの終了

後にも嫌な顔を一つもすることなく、遅くまでお付き合いくださいったり。また記事のご確認も迅速にご対応いただいたりと、大変にお世話になった。この浦上さんの懐の深さが、死の体験旅行の場にあるあたたかさの源泉なのだろうと、今になって感じている。ところで、編集の過程でも、「伝聞」と「体験」とは違うということを感じた。

死の体験旅行が、どんな内容のワークショップかは以前より耳に聞いていて、どこか知っている気になっていた。「こういう構成になるだろうな」とぼんやり想像していたが、いざ体験してみたら、その浅はかな構成はふっ飛んだ。そのインパクトは、参加者の方々の声から感じていただけれると思う。

「死の体験旅行の疑似体験」をしたように感じられる記事になればと思っ苦しかったが、やはり伝聞の域は超えられない。関心を持たれた方は、一度ご参加いただけたら、そして、この旅でしか出会えない気づきを体験していただけたら幸いです。

末筆ながら、浦上哲也さん、まちのお寺の学校の事務局の堀内哲生さん、ワークショップ終了後にお時間を割いてお話を聞かせてくださった方々、ご多忙な中イベントレポートを寄稿してくださった朝日新聞社の清水謙司さん、私にはない感性で特集記事を作成してくれた福山智昭さん、そして今号のためにご尽力くださったすべての方に、心から感謝申し上げます。

フリースタイルな僧侶たち代表 若林唯人

フリースタイルな僧侶たち 活動支援のお願い

スクーターで通り過ぎる姿か、お葬式やご法事。僧侶を見かける機会はそれぐらいだし、有名な寺院以外のお寺には、なんか入りにくい。僧侶として、この現況を申し訳ないと思うし、もったいないこととも思います。

「人生は苦なり」と説く仏教。ネガティブなようだけど、深い悩みの最中にある時には、その通りだと身に沁みます。なぜ私たちの苦しみは起るのか。自分も他人も合わせになるために、いかに生きればよいのか。2500年にわたり伝わってきた仏教は、そのことを教えてくれます。分厚い伝統のポテンシャルは確かなものがあり、今を生きる支えになると私たちは信じています。

仏教を身近に、日常に。そして、あなたの生きる力に。この願いをベースに僧侶と一般のスタッフがチームになって、仏教の本質は変えずに現代に翻訳し、型にとらわれずに仏教を発信する活動。それがフリースタイルな僧侶たちです。フリーマガジンの発行とイベントの実施の二つを軸に活動しており、敷居は低く、中身は深く、軽やかに仏教と出会えるように、安らぎや気づきが得られるように、持てる力を尽くしてまいります。

私たちの取り組みに共感し、応援して下さるサポーターを募集しています。志を同じくする僧侶はもちろん、仏教に真摯に向き合ってくださいボランティアスタッフもお待ちしております。仏教が生きる安らかな社会をご一緒につくっていきましょう。

応援して下さるサポーターを募集しています

- 活動支援を新規・継続でお申し込みいただいたサポーターには、本誌を毎月お送りいたします。(年間6回予定、偶数月1日発行)
- フリースタイルな僧侶たち主催のイベントにおいて優待いたします。
- 法人サポーターの方は、本誌にお名前を掲載させていただきます。

協賛年会費: 5,000円(個人) 30,000円(法人)

〈会費振込先〉三井住友銀行 園田支店 (422) 普通 5092943
フリースタイルな僧侶たち 代表 若林唯人

*お振り込みの際には、あらかじめ下記のいずれかにご連絡ください。
☎050-5583-4330 E-mail: info@freemonk.net

協賛法人サポーターリスト 本誌発行にあたり、ご支援いただいた皆さまに厚く御礼を申し上げます

浄土宗……安心院(八幡市)／安楽寺(南丹市)／延命寺(堺市堺区)／吉祥寺(萩市)／九品寺(京都市南区)／教安寺(福津市)／慶蔵院(伊勢市)／光照院(台東区)／金剛寺(京都市東山区)／西明寺(尼崎市)／西楽寺(京都市伏見区)／西林寺(大阪府泉南郡)／浄栄寺(東近江市)／正覚寺(青森市)／正善寺(伊丹市)／勝楽寺(阿田市)／真光寺(今治市)／新善光寺(札幌市中央区)／崇福寺(甲賀市)／善願寺(甲賀市)／善道寺(札幌市豊平区)／臺鏡寺(枚方市)／檀王法林寺(京都市左京区)／潮音寺(東京都大島町)／長壽院(台東区)／梅窓院(港区)／法岸寺(静岡市清水区)／寶松院(港区)／法善寺(大阪市中央区)／妙慶院(広島市中区)／無量光寺(鳥取市)／龍岸寺(京都市下京区)

浄土宗西山禅林寺派……光明院・田中医院(京都市中京区)／宝泉寺(津島市)

浄土真宗本願寺派……光栄寺(井原市)／光照寺(大阪市東淀川区)／光徳寺(みやま市)／光明寺(奈良県吉野郡)／西教寺(生駒市)／西方寺(大和郡山田市)／西法寺(北九州市)／浄元寺(尼崎市)／正源寺(大津市)／浄満寺(大阪市西成区)／信覚寺(福岡県朝倉郡)／崇興寺(福山市)／養法寺(金沢市)

真宗大谷派……覚法寺(福岡県八女郡)／称讃寺(新潟県長岡市)／正蓮寺(伊豆の国市)／超覚寺(広島市中区)／宝皇寺(函館市)

浄土真宗東本願寺派……緑泉寺(台東区)

天台宗……圓融寺(目黒区)／大圓寺(目黒区)／本覺寺(横浜市鶴見区)

高野山真言宗……弘法寺(和泉市)／薬師院(岸和田市)

真言宗豊山派……寶積寺(松山市)

真言宗御室派……三津寺(大阪市中央区)

臨済宗妙心寺派……円光寺(台東区)／宜雲寺(江東区)／陽岳寺(江東区)／龍雲寺(世田谷区)

臨済宗建長寺派……帰一寺(静岡県賀茂郡)／東光禅寺(横浜市金沢区)

曹洞宗……四天王寺(津市)／瑞生寺(浜松市中区)／南詢寺(守口市)／鳳仙寺(宮城県亶理郡)

日蓮宗……池上實相寺(大田区)／法華寺(亀岡市)／妙海寺(勝浦市)／妙見寺(橋本市)

時宗……正法寺(京都市東山区)

単立……五百羅漢寺(目黒区)／瑞聖寺(港区)／法然院(京都市左京区)

企業・団体・店舗……一般社団法人 日本石材産業協会(千代田区)／遠藤新兵衛商店(京都市下京区)／学校法人 鎮西学園(熊本市中央区)／株式会社アールアンドダブルユー(京都市中京区)／株式会社アンカレッジ(港区)／株式会社カウント・ワン(大津市)／株式会社 京美仏像(京都市北区)／株式会社 薫寿堂(神戸市)／株式会社 作島(京都市下京区)／京都坊主BAR(京都市中京区)／京念珠げにや(京都市下京区)／茶坊えにし(台東区)／寺院コム(京都市左京区)／大正大学(豊島区)／豊田愛山堂(京都市東山区)／浜屋株式会社(姫路市)／坊主BAR 縁(岐阜市)

*各宗派内五十音順

冬用各宗派衣価格(税込)

- | | |
|------------------|-----------------------|
| ◎布袍化織地 18,800円～ | ◎黒直綴化織地 27,000円～ |
| ◎改良衣化織地 17,500円～ | ◎白衣テロンウール 9,950円～ |
| ◎間衣化織地 17,500円～ | ◎白衣高級メガーナ京仕立 16,800円～ |
| ◎黒衣化織地 30,500円～ | ◎足袋 950円～ |

匠のお安いクリーニング お電話お待ちしております

法衣・袈裟製造直販

丸西宗教織物株式会社

京都市下京区堀川通正面上ル(西本願寺前店)

☎0120-075-024

築90年の京町屋で本格タイ料理

佛沙羅館

Tel:075-361-4535

<http://r.gnavi.co.jp/k024400/>

住所:京都府京都市下京区木屋町通松原上儿美濃屋町173-1

祇園ギャラリー源右衛門

Tel:075-533-6088

京都市東山区祇園町南側555番地(祇園ホテル1F)

お念珠取り揃えております





浜屋は
関西最大級の
お仏壇・お仏具・
墓石の専門店です。

やすらぎの世界を創る



浜屋

お仏事・お仏壇・お仏具・お墓・ギフトのご相談は

通話料無料 浜屋姫路本社フリーダイヤル

0120-1616-94

●受付時間/午前10時～午後6時30分まで

関西最大級の38店舗、安心のネットワーク。お近くの浜屋へご来店下さい。

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| ■奈良王寺店 ☎(0745)31-2211代 | ■尼崎市役所前店 ☎(06)6414-3900代 |
| ■奈良生駒店 ☎(0743)83-2211代 | ■尼崎店 ☎(06)6413-2211代 |
| ■岸和田店 ☎(072)445-2211代 | ■宝塚店 ☎(0797)83-4500代 |
| ■堺鳳店 ☎(072)261-2211代 | ■西宮店 ☎(0798)51-2211代 |
| ■藤井寺店 ☎(072)954-2211代 | ■西宮駅前店 ☎(0798)34-2280代 |
| ■駒川店 ☎(06)6709-2211代 | ■芦屋店 ☎(0797)35-1194代 |
| ■八尾久宝寺店 ☎(072)925-2200代 | ■三田店 ☎(079)559-2211代 |
| ■中環東大阪店 ☎(06)6783-2211代 | ■神戸本店 ☎(078)371-2211代 |
| ■環屋川本店 ☎(072)829-2211代 | ■新長田店 ☎(078)621-2211代 |
| ■枚方家具団地店 ☎(072)836-2211代 | ■明石店 ☎(078)927-2211代 |
| ■高槻店 ☎(072)683-2211代 | ■加古川店 ☎(079)426-2211代 |
| ■茨木店 ☎(072)622-2211代 | ■高砂店 ☎(079)443-2211代 |
| ■箕面店 ☎(072)726-5522代 | ■姫路店 ☎(079)282-2211代 |
| ■中野店 ☎(06)6853-2220代 | ■福崎店 ☎(0790)22-2211代 |
| ■豊中店 ☎(06)6848-2211代 | ■網干店 ☎(079)272-2211代 |
| ■川西店 ☎(072)759-2201代 | ■龍野店 ☎(0791)62-2235代 |
| ■北伊丹店 ☎(072)780-5211代 | ■赤穂店 ☎(0791)45-2211代 |
| ■伊丹店 ☎(072)775-2211代 | ■山崎店 ☎(0790)62-5171代 |
| ■東園田店 ☎(06)4960-4000代 | ■山崎店 ☎(079)293-2211代 |

■本社/姫路市南畝町2丁目31番地 TEL.079-288-2211(代)

「フリースタイルな僧侶たち」 広告募集のお知らせ

「フリースタイルな僧侶たち」に掲載する広告を募集しております。

媒体情報：A4サイズ/12頁/全頁フルカラー/偶数月1回発行・年6回
発行部数：15,000部(2017年2月現在)
設置箇所：寺院、書店、カフェ、その他店舗

お問い合わせ先/フリースタイルな僧侶たち編集部

Tel:050-5583-4330 E-mail:info@freemonk.net

お寺の広報をサポートします。

弊誌制作チームが、印刷物の「デザイン」からお寺を魅せるノウハウを提供します。お寺の想いを地域社会にスムーズに伝えようとするとき、洗練された「デザイン」はきっとその助けになります。

◎取扱い：名刺/封筒/チラシ/ポスター/冊子など

お問い合わせ先/フリースタイルな僧侶たち編集部

Tel:050-5583-4330 E-mail:info@freemonk.net



心といのちの電話相談室

☎03-3436-6823

相談受付 毎週月曜日・金曜日 10:00～16:00 (祝日、盆、年末年始は休業いたします)

あなたを支えたいと
願う人がいます。
つらいお気持ち
おはなしてください。

「心といのちの電話相談室」の特徴

研修を受けたお坊さん、
お寺の奥さんがお話を伺います

多彩なご相談に対応します

周囲の方もご相談ください

「心といのちの電話相談室」の約束

秘密は必ず守ります

勧誘はしません

無料でお受けします

「心といのちの電話相談室」事務局

〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4 公益財団法人 浄土宗ともいき財団 内
TEL.03-3436-3353 FAX.03-5472-4878 ホームページ <http://tomoiki.jp/>

詳しくは

心といのちの電話相談室

検索

フリースタイルな僧侶たち Vol.45 死の体験旅行

2017年2月1日発行

©フリースタイルな僧侶たち2017 禁無断転載

発行所 フリースタイルな僧侶たち編集部
〒600-8305 京都府京都市下京区東若松町795-2-C
☎050-5583-4330 info@freemonk.net

編集長
若林唯人

編集
増田将之
山田真悟
飯村絵理子

デザイン
梅本龍青(NILOTPALA)

マンガ
光澤裕顔

特集記事協力=福山智昭

最新のイベント情報はPCサイトでCHECK!

www.freemonk.net



誌面作成の裏側やイベント風景など
@freemonk_official